**日本評価学会春季第11回全国大会について**

**Spring the 11th Annual Conference of the Japan Evaluation Society**

 ○評価　花子\* 評価　太郎\*\*

 Hyoka, Hanako Hyoka, Taro

 \*×××大学 \*\*×××大学

 XXXX University XXXX University

(著者が１名の場合は中央に)

**＜要約＞**　来る2014年5月31日(土)、日本評価学会春季第11回全国大会がJICA地球ひろばにて開催されます。皆様お誘い合わせの上、おいでいただければ幸いです。

　さて、本稿では、発表原稿の書き方についてご説明します。

**＜キーワード＞**　書式、ページ数、原稿作成上の注意、原稿締切、送付方法

**１．原稿の書式**

原則としてワードプロセッサーを使用、用紙はA4版を使用してください。本文は40字詰め、1ページ45行、11ポイントのMS明朝文字を標準とします。題目、見出しはMSゴシック文字を使用してください。また、題目については18ポイント（太字）、見出しは11ポイント（太字）にしてください。マージンとして、上端30mm、下端25mm、左右25mmの空白部分を確保してください。ページ番号はふらないでください。見出し番号は次のようにつけてください。

1.

1.1

1.1.1

**２．ページ数**

個人研究、共同研究ともに4ページ（図表含む）を基準とします。ページ数の超過は、最大4ページ（合計8ページ）まで認めます。ただし総ページ数は必ず偶数になるようにしてください。1ページや3ページの超過は認めません。

**３．原稿作成上の注意**

原稿はこの原稿見本に従い次の要領で準備してください。

(1) 書き出し

1ページ目：

 第1、2行 発表題目（和文、英文）（題目(和文)のサイズは18ポイント）

 第3、4行 氏名（和文、英文）（共同研究の場合、口頭発表者の氏名の先頭に○）

 第5、6行 所属（和文、英文）

 第7行から 要約（200字程度）（和文）

 キーワード（5語以内）

以後本文になります。2ページ目以降は第1行目から本文を書いてください。すべて英文とする場合には、和文は必要ありません。

連名発表者で所属が異なる場合は\* や \*\* などの記号で対応を明確にしてください。

書ききれない場合は、7行目以降を適宜繰り下げて使用してください。

(2) 連絡先

第1ページ下段に区切り線を引き、代表者連絡先を書いてください。

(3) 図表・写真

本文中に挿入してください。図表のフォントにはあまり小さなフォントを使用しないようにしてください。印刷物は白黒で刷り上がります。カラーで作成されたものは明確に印刷されない場合があります。グラフ等で区別が必要な場合には、カラーではなく線や網のパターンで区別することをおすすめします。

(4) 文献・謝辞等

論文末尾とします。

**４．原稿締切**

**2014年4月22日（火）必着**

**締切厳守**でお願いいたします。

締切を過ぎた場合には、原稿を掲載できない場合がございます。

**５．送付方法**

E-mailにて、メール件名を「JES春季第11回全国大会自由論題発表原稿／共通論題発表原稿（氏名）」としたうえで、電子ファイル（※）を**jes.info@evaluationjp.org**宛にお送りください。

レイアウトの崩れ等を心配される場合は、PDFファイルに加工してお送りいただくか、ハードコピーを下記までお送りいただくことをおすすめします。

**※MS wordまたはPDFファイルのみ可。図表・写真はファイルに貼りこみ完全版下の状態にしてください**

【原稿送付先】

 電子ファイル送付先：　**jes.info@evaluationjp.org**

 日本評価学会春季第11回全国大会

 プログラム委員会委員長　牟田　博光　行

 ハードコピー送付先：

〒140-0002　東京都品川区東品川4-12-6日立ソリューションズタワーB 22F

 一般財団法人　国際開発センター内

日本評価学会春季第11回全国大会

 プログラム委員会委員長　牟田　博光　行

以上